



Active Directory、LDAP、LDAPSの設定

SnapCenter Software 5.0

NetApp
July 18, 2024

目次

Active Directory、LDAP、LDAPSの設定	1
信頼されていないActive Directoryドメインの登録	1
LDAPS用のCAクライアント証明書の設定	2

Active Directory、LDAP、LDAPSの設定

信頼されていないActive Directoryドメインの登録

信頼されていない複数のActive Directoryドメインのホスト、ユーザ、およびグループを管理するには、Active DirectoryをSnapCenterサーバに登録する必要があります。

開始する前に

- LDAP および LDAPS プロトコル *
- 信頼されていないActive Directoryドメインは、LDAPまたはLDAPSプロトコルを使用して登録できます。
- プラグインホストとSnapCenterサーバの間の双方向の通信を有効にしておく必要があります。
- DNSによる解決は、SnapCenterサーバからプラグインホストへ（またはその逆）設定する必要があります。
- LDAPプロトコル*
- 完全修飾ドメイン名（FQDN）をSnapCenterサーバから解決できる必要があります。

信頼されていないドメインはFQDNを使用して登録できます。FQDNをSnapCenterサーバから解決できない場合は、ドメインコントローラのIPアドレスを使用して登録できます。このアドレスはSnapCenterサーバから解決できる必要があります。

- LDAPSプロトコル*
- CA証明書は、Active Directory通信中にLDAPSでエンドツーエンドの暗号化を提供するために必要です。

"LDAPS用のCAクライアント証明書の設定"

- ドメインコントローラのホスト名（DCHostName）にSnapCenterサーバから到達できる必要があります。
- このタスクについて *
- 信頼されていないドメインは、SnapCenterユーザインターフェイス、PowerShellコマンドレット、またはREST APIを使用して登録できます。
- 手順 *
 1. 左側のナビゲーションペインで、* 設定 * をクリックします。
 2. 設定ページで、* グローバル設定 * をクリックします。
 3. [グローバル設定] ページで、[* ドメイン設定 *] をクリックします。
 4. をクリックして新しいドメインを登録します。
 5. [新しいドメインの登録] ページで、**LDAP** または *LDAPS* のいずれかを選択します。
 - a. 「* ldap *」を選択した場合は、LDAP の信頼されていないドメインを登録するために必要な情報を指定します。

フィールド	操作
ドメイン名	ドメインのNetBIOS名を指定します。

フィールド	操作
ドメインFQDN	FQDN を指定し、 * resolve * をクリックします。
ドメインコントローラのIPアドレス	ドメイン FQDN を SnapCenter サーバから解決できない場合は、ドメインコントローラの IP アドレスを 1 つ以上指定します。 詳細については、を参照してください " GUI から信頼できないドメインのドメインコントローラ IP を追加します "。

- b. 「* LDAPS *」を選択した場合は、LDAPS の信頼されていないドメインの登録に必要な情報を指定します。

フィールド	操作
ドメイン名	ドメインのNetBIOS名を指定します。
ドメインFQDN	FQDNを指定します。
ドメインコントローラ名	1 つまたは複数のドメインコントローラ名を指定し、 * Resolve.* をクリックします。
ドメインコントローラのIPアドレス	ドメインコントローラ名をSnapCenterサーバから解決できない場合は、DNSの解決を修正する必要があります。

6. [OK]*をクリックします。

LDAPS用のCAクライアント証明書の設定

Windows Active Directory LDAPSにCA証明書が設定されている場合は、SnapCenterサーバでLDAPSのCAクライアント証明書を設定する必要があります。

• 手順 *

1. Microsoft 管理コンソール (MMC) に移動し、[* ファイル*]、[スナップインの追加と削除]の順にクリックします。
2. [スナップインの追加と削除] ウィンドウで、[Certificates] を選択し、[Add] をクリックします。
3. [証明書] スナップインウィンドウで、[Computer account] オプションを選択し、[完了*] をクリックします。
4. [* コンソールルート > 証明書-ローカルコンピュータ > 信頼されたルート証明機関 > 証明書*] をクリックします。
5. [信頼されたルート証明機関] フォルダを右クリックし、[すべてのタスク > *Import] を選択してインポートウィザードを開始します。

6. 次の手順でウィザードを完了します。

ウィザードウィンドウ	操作
ウィザードの2ページ目	[* 参照]をクリックし、 <i>Root Certificate</i> を選択して、[* 次へ*]をクリックします。
証明書のインポートウィザードの完了	概要を確認し、[完了]をクリックしてインポートを開始します。

7. 中間証明書について、手順 5 と 6 を繰り返します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。